

# 2019国際ロボット展

## INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2019

2019年12月18日(水)～12月21日(土) 10:00～17:00

東京ビッグサイト 青海・西・南ホール

主催：一般社団法人 日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

2年に一度開催される国際ロボット展ですが、今回は4日間にわたり、東京ビッグサイトの西・南展示場と、青海会場の2会場に分かれての開催となりました。

今回特筆すべき点は、青海会場のAホールにSIerゾーンを設置して、多くのシステムインテグレータ企業が集まった展示会場となったことです。初日には、梶原経済産業大臣、牧原副大臣がSIerゾーンを視察されました。

そのSIerゾーンの一角に「日本ロボット工業会/FA・ロボットシステムインテグレータ協会」のブースを出展いたしました。SIer協会ブースには、協会会員企業の(株)パイナスと(株)安川電機、また日本ロボット工業会会員のファナック(株)のご協力により、3台のロボット展示を行うことができました。また、同じく会員企業のスリーエムジャパン(株)にブースの壁面デザインを担当

していただきました。ブースにはポスターやパネルを掲示したほか、モニターで会員企業からご提供いただいた動画を上映しました。

そして4日間の会期中は、多くの会員企業より、会場説明員としてボランティア参加をしていただき、来場者対応やパンフレット配布を手伝っていただきました。協会ブースはこのような、多くの方々のご協力により運営することができました。

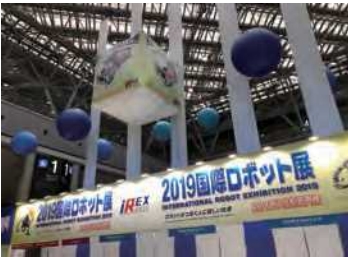
また、青海会場とそのほかの展示会場に多くの会員企業がブースを出展されていましたが、各ブースにはSIer協会の青い旗がたくさん掲げられ、一目で会員企業とわかりました。次ページには、会員企業から寄せられたブースの写真を集めてご紹介いたします。今後も、各地の展示会場でこの旗を見かけたら「FA・ロボットシステムインテグレータ協会の会員企業」であることを思い出して、どうぞお立ち寄りください。

会期中、昨年6月にSIer協会が海外調査事業で訪れたタイのSIer関連機関が来日され、ロボット展を視察、合同会議も開催しました(関連記事P18参照)。

また、最終日の12/21(土)には、ロボットアイデア甲子園全国大会も開催されました。(関連記事P6～8参照)そちらの記事も併せてお読みください。

### 日本ロボット工業会/FA・ロボットシステムインテグレータ協会ブース

#### ■青海会場AホールとSIer協会展示ブースの様子



国際ロボット展開幕！！



青海会場外観



青海会場入り口サインボード



視察中の梶原経産大臣と久保田会長



JARA/SIerブース全景



ブース全体とファナックロボット展示



パイナスロボット展示



ブース内部の様子

#### ■来場者で賑わうブースと会場ボランティアにご協力をいただいた方々



映像モニターと安川電機ロボット展示



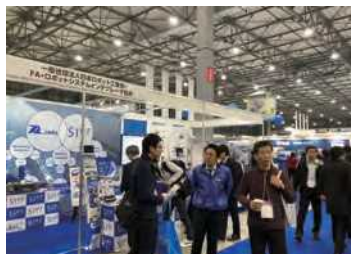
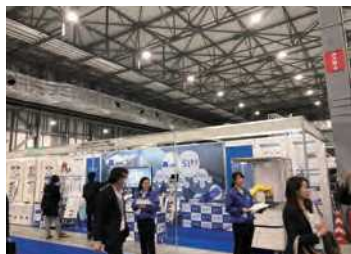
説明員として来場者対応する会場ボランティアのみなさん



動画をチラリ



チラシやパンフレットを配布してくださるみなさん



記念に集合写真！！

## SIerゾーン システムインテグレータ企業出展 ～ SIer協会会員企業ブースと協会の旗 ～

国際ロボット展では初めての試みとして、ロボットシステムインテグレータ企業が集まったエリア「SIerゾーン」ができました。SIer協会加盟企業も多く、その証となる青い旗が多く掲げられていました。(掲載できなかった企業については次の機会にお願いいたします。)



HCI



バイナス



三菱電機システムサービス



SIer協会の旗



トライエンジニアリング



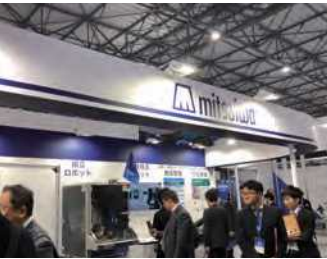
日本認証



高丸工業



シナノケンシ



ミツイ



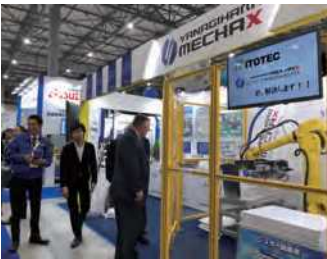
鍋屋バイテック



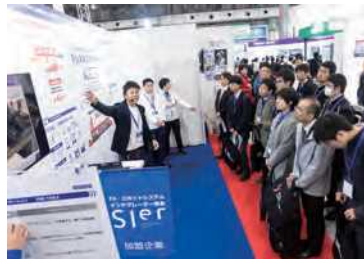
東洋理機工業



三松



ヤナギハラメカクス



Team Cross FA

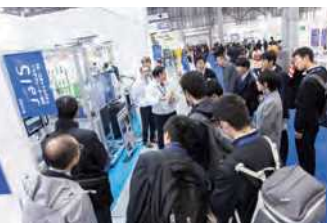


三明機工



## ロボットアイデア甲子園全国大会参加者による国際ロボット展見学ツアー

最終日に開催されたロボットアイデア甲子園全国大会出場者や応援団が、実行委員会の案内で会場を見学しました。初めて見る最新の産業用ロボットに目を見張る学生や引率教員の皆様のご様子です。



### ★ ツアー見学者の感想 ★

- 最先端の技術を学び体験するということが初体験だったので、いい刺激になりとても有意義な時間を過ごすことができました。常に技術は発明、試作、改良を通じて進歩し続け、僕達が想像もしない未来を作り出そうとしていると考えるととてもワクワクします。(情報システム科3年ロボット研究部)
- 人と共存し共に仕事ができるようなロボットが多いと感じました。現在は少子化で働き手が少なくなっているのですがこのようなロボットは大切でとても感銘を受けました。(ロボット工学科1年ロボット研究部)
- アーク溶接のロボットにおいては、機械科所属の私にとってとても興味深い物であり、作業の効率向上や正確性の向上につながる可能性を秘めたロボットであると感じました。(機械科2年電子研究部)